

お知らせ

東通原子力発電所1・2号機新設に係る 環境監視調査結果（2025年度）について

東京電力ホールディングス㈱では、2007年度より建設工事中の環境監視調査を行っています。

なお、東通原子力発電所は2011年1月に着工しましたが、福島第一原子力発電所事故以降、建設工事を見合わせており、資材の搬出入、建設機器の稼働が著しく少ないことから、2011年度以降「大気質」「騒音」「振動」の環境監視の頻度を見直しております。

2025年度の調査の結果として「大気質」「振動」「水質」につきましては、環境基準・管理目標を満足しておりました。

東通村（旧小田野沢小中学校近傍）において、騒音レベルが環境基準値をわずかに超えていましたが、工事開始前および過去の調査結果と比較しても大きな変化が認められないことから、工事用資材等の搬出入に係る影響ではないと判断いたしました。

「地形及び地質」「陸域に生育する植物」「海域に生育、生息する動植物」につきましては2007年度～2024年度と比較した結果、大きな変化はありませんでした。

以上の結果より、発電所建設工事が周辺環境に与える影響は現時点では小さいものと評価いたしました。

調査結果の詳細につきましては、「東通原子力発電所1・2号機新設に係る環境監視調査結果報告書（2025年度）」として、トントウビレッジ内の原子力情報コーナーにて閲覧が可能です。